

## 事業所における自己評価結果

公表日: 2026年3月6日

事業所名 こもれび園

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	0	基準以上の面積を確保しています。また、おやつや制作・個別課題の時間など人数が多い場合には、部屋を分けて活動するように工夫しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	0	基本的に子ども2人に対して指導員1人で対応しています。状況や必要に応じて、職員の人数の増減はあります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	0	玄関前にはスロープの手すりがあり、室内には段差がなく床がフラットになっています。またトイレにトイレのマークをつけるなど、子どもにわかりやすい環境を整えています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	0	毎日掃除を行い、清潔な環境を提供できるように心がけています。また机のある部屋と机のない部屋など、活動に合わせた空間を作っています。	園庭の雑草や樹の手入れが行き届いていないことがあるため、改善に努めていきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	0	静養室を設け、子どもが個別の部屋を使用することができる環境を整えています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	0	日々の活動が終わった後や月1回の事業所の職員会議、個別支援検討会議で、振り返りや支援方法について話し合いを行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	0	保護者の方に対してアンケート調査を実施し、その意見を参考にして話し合いを行っています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	0	日々の活動が終わった後や、月1回の事業所の職員会議で、職員の意見を把握する機会を設けています。また出た意見について話し合い、業務改善に繋げています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	0	他事業所の方の意見や助言を参考に、業務改善に努めています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	0	事業所の職員会議で行うものや法人全体で行うものなど、研修する機会を設けています。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	0	ホームページで1日の流れやプログラムを公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	0	お迎えの時の申し送りの際に保護者の方のお話を伺い、それをもとに職員間で話し合いながら作成しています。	

## 適切な支援の提供

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	0	個別支援計画検討会議を行い、子どもの支援に関わる職員が共通理解を図りながら検討し作成を行っています。また、作成後も職員間で内容が適切かどうか話し合う機会を設けています。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	0	支援計画を個別の利用記録ファイルに入れておくことで、職員がいつでも確認し計画に沿った支援が行えるようにしています。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	0	個別支援計画や利用者登録カード、アンケート等をもとに支援を行っています。また、日々の記録には行動について気になったことを特記として記入するようにしています。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	0	放課後等デイサービスガイドラインのねらいや支援内容を踏まえながら、子どもの支援に必要な項目と具体的な支援内容を設定しています。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	0	事業所の職員と話し合っ、活動プログラムを考えています。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	0	プログラムの大枠は決まっていますが、季節の制作や企画、掃除や個別課題なども加え固定化しないように工夫して行っています。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	0	個別で取り組む課題と集団で取り組む課題を組み合わせ、両方が体験できるようにプログラムを考えています。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	0	支援開始前に、その日のプログラムの流れや担当等を確認しています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	0	支援終了後に職員会議を行い、その日の振り返りを行っています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	0	日誌や個別のファイルにて記録をとり、次の日に確認をして、支援検討・改善に繋げています。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	0	相談支援のモニタリングに参加し、放課後等デイサービス計画の見直しを行っています。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	0	ガイドラインに沿って支援を行っています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	0	おやつ時間に好きなお菓子を選ぶことや2つの活動から1つ選ぶなど、“自分で決める”ということができるように工夫しています。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	0	その子どもに詳しい職員が参加できるようにしています。

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	0	医療や教育等関係機関とは、必要に応じて連携を図れる体制を整えています。また、利用者登録カードや重要事項説明書に、主治医を記載してもらっています。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	8	0	0	学校へのお迎え時に、先生とお話をして情報共有を行っています。また支援学校とは年に1度の連絡会に参加し、情報を共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	0	以前利用していた放課後等デイサービスと情報共有を行い、相互理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	0	保護者の方や他事業所の必要に応じて、情報共有を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	0	児童発達支援センターと連携・情報共有し、助言を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	0	公園等であいさつを交わしたり、一緒に遊んだりすることがあります。	放課後児童クラブや児童館との交流は現在行っていないため、必要に応じて交流の機会を作れるように努めていきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	0	参加しています。今後も積極的に参加していきたいと考えています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	0	お迎えの申し送りの際に、子どもの様子について保護者の方と話し合い、共通理解が持てるようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	0	年に1度ご家族の方が参加できる研修の機会を設けています。	現在ペアレントトレーニングは行っていませんが、必要に応じて行える体制作りを努めていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	0	契約時に説明・確認等を行っています。	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	0	個別支援計画を作成する前にお迎え時の申し送りの際、保護者の方やご本人の意向を確認するためにお話をする機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	0	お迎え時に支援内容の説明を行い、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	0	お迎え時の申し送りやモニタリングの際に、保護者の方からお話を聞いています。相談内容に応じて必要な助言や支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	1	6		現在保護者同士の交流会等は行っていませんが、必要に応じて開催していけるように努めていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	0	苦情があった場合には速やかに職員全員で内容を共有し、対応に努めています。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	1	0	月1回こもれび園だよりを発行し、活動の様子などを発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	0	個人情報の管理の仕方や写真の取扱いについては、職員間でしっかり確認し十分に留意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	0	写真カードやサインなどを使って、子どもたちと意思の疎通を図っています。また保護者の方には、申し送りの際に情報を伝達しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	2	6		現在、行事に地域住民の方を招待する等はありません。今後より地域に開かれた事業運営を図っていけるよう、努めていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	0	職員に対しては、職員会議等により周知を行っています。また保護者の方には、見える場所に掲示するなどして周知しています。そのほか関連する訓練・研修等も行っていきます。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	1	業務継続計画を策定し、避難訓練や通報訓練、消火訓練等を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	0	利用者登録カードにより確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	0	食物アレルギーがある子どもの保護者の方には、利用者登録カードや書類に記載してもらい対処しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	0	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練等を行っています。また安全管理がされた中で支援を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	0	安全計画を配布・掲示し、周知しています。また訓練を行った際には、申し送り時にその状況や子どもの様子等について、情報を共有しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	0	ヒヤリハットが起こった時には、報告書を作成しています。また職員会議等で情報を共有し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	0	事業所の会議の中で研修を行い、セルフチェックも行っていきます。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	0	契約時に保護者の方に説明し、理解していただいています。また個別支援計画にも記載しています。	